

第15回 多摩市自治推進委員会 要点記録

- 1 日時：平成30年10月19日（月）午後7時5分から午後9時40分
- 2 場所：多摩市役所3階 特別会議室
- 3 出席委員：和田委員長、西川副委員長、島野委員、高澤委員、
- 4 欠席委員：小城委員、富田委員
- 5 議事：報告書に関する検討について

1 開会

委員長 第15回自治推進委員会を開催する。

2 議事

委員長 本日の配布資料について、事務局より説明をお願いしたい。

資料1、2、参考資料1に基づき、事務局から内容について説明を行った。

本日は、前回の審議結果を踏まえて出された報告書及びポイントガイドの内容の検討を行いたい。

まず、報告書全体において、文章の表現が「です・ます調」や「である調」が混在しているので、統一すべきである。

6ページの「(4) 市民と地域活動団体に対する意識調査の取り組み」において、市民アンケート及び地域活動団体アンケートの概要が記載されているが、送付した団体の対象や数について、整理して記載した方が良いのではないか。

また、6ページの下から3行目「知らない、関心がないこと～」の段落について、この段落の前後で説明していることと内容が被るため、記載を削除しても良いと思う。

副委員長 8ページの導入部分の表現について、言い換え等により、説明が被っていてわかりづらいところや文章の接続表現が適切でない部分があるので、整理する必要がある。

9ページの「各情報発信の手法のメリットとデメリット」の事例について、「紙媒体等で自然に目にできる手法」は、他に示している手法と比較して抽象的な例となっているので、「個別配布やポスター設置等」具体的な手法例に変えた方が良いと思う。

10ページの「ア. 参加者にとって参加しやすい団体運営」及び「イ. 『ア』に近づくために、運営する側にとって大事なこと」の事例について、例示が具体的なものと抽象的なものが混ざって示されているので、表現のレベルを合わせた方が良い。

委員 13ページの「おわりに」において、委員会の活動が限られた時間と制約の中で行ってきた旨の記載を入れて欲しい。

委員 ポイントガイドのステップ1のところ、紙媒体のチラシを見ているイラストのみではなく、SNSが活用された情報を見ている様子が描かれたイラストが必要であると思う。

副委員長 ポイントガイドのステップ5のところに、「負担の平準化」とあるが、知縁団体においては、人によって負担を負える人とそうでない人の差があり、会員が一律に負担を負うよう平準化することは、良い事ではない。適切に役割分担を行うことで、負担を負える人が負担を負うようにして、団体の運営体制をつくる必要があることを示せば良いと思う。

 また、地域活動団体が団体運営で気をつけるべきことや対応すべきことを具体的に示せていないので、表現を工夫する必要がある。加えてこのポイントガイドにおいては、運営側の工夫の結果、参加者のステップが進むような表現であれば、地域活動団体においても活用できるものになると思う。

委 員 今期の委員会においては、市民が地域活動に『気づき』、地域活動に踏み出す『きっかけ』を作ることについて議論を行ってきたので、ステップ2までを中心にしてポイントを示すことができれば良いと思う。

委員長 それでは、本日の議論内容を反映した報告書及び団体向けのポイントガイドの案を、次回委員会で確認したい。

3 その他

事務局 次回、第16回自治推進委員会については、11月12日（月）午後7時から多摩市役所3階特別会議室にて行う。

4 閉会